



2019年5月20日

各位

会社名 兼松サステック株式会社
 代表者名 取締役社長 高崎 實
 (コード: 7961 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 田中 昭浩
 (TEL. 03-6631-6600)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2019年5月20日開催の取締役会において、下記のとおり、2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2018年4月27日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基 準 日	2019年3月31日	同左	2018年3月31日
1株当たり配当金	25円00銭	同左	20円00銭
配当金総額	103百万円	—	82百万円
効力発生日	2019年6月3日	—	2018年6月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、利益配分について、収益力の向上による経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様への業績に裏付けられた適正な利益還元を行うことを最重要課題と位置づけております。また、内部留保金は、業績が景気動向に左右される中で、市場競争力ならびに収益の維持、向上に不可欠な設備投資、研究開発を的確な時期に行っていくために極めて重要であり、株主の皆様の利益を長期的に確保することになると考えております。

当社では近年の業績回復により財務体質の改善が進み、2016年3月期に1株当たり2円50銭（株式併合後の基準で25円）（注）の期末配当で復配、2017年3月期は増配し1株当たり4円（同基準で40円）の期末配当を実施、2018年3月期は中間配当1株当たり2円（同基準で20円）、期末配当は1株当たり20円（同基準で年間配当1株当たり40円）を実施しました。当期は減収減益ながらも堅調に推移し、上記基本方針に基づき増配し期末配当金は1株当たり25円00銭とし、中間配当金を加えた年間配当金は50円00銭といたしました。

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

（参考）年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	25円00銭	25円00銭	50円00銭
前期実績（2018年3月期）	2円00銭	20円00銭	—

（注）当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたため、2018年3月期の1株当たり期末配当金は当該株式併合後の基準による金額を記載し、年間配当金は、「—」で記載しております。

なお、当該株式併合の割合に応じて換算すると、2018年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は20円00銭となり、期末配当金20円00銭を加えた1株当たり年間配当金は40円00銭となります。

以上